専門分野

授業科目	老年看護学概論Ⅰ	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者
		1年次	1	30		佐藤舞菜見

学習目標	
	1. 老年期にある人の身体的、心理社会的特徴を理解し、加齢変化が高齢者の生活に与える影響を理解できる。 2. 高齢者にとっての健康を目指し、生活を支えるための看護の役割を理解できる。 3. 「老い」を生きる高齢者の尊厳を守り、ＱＯＬを高めるための支援について考えることができる。

回数	授業計画・授業内容	授業方法	講師/実務経験
1	序　老年看護を学ぶ入り口 1. 老年看護の始まり 2. 超高齢社会の現況 3. 老いへのイメージ	講義	佐藤舞菜見 教員 実務経験:有
2	Ⅰ. 老年期の理解 1. 高齢者の定義 2. 加齢と老化 3. 加齢に伴う身体的変化の特徴 4. 高齢者の疾患の特徴		
3	Ⅱ. 高齢者の加齢変化と日常生活への影響 1. 加齢に伴う外観の変化		
4	2. 各感覚器の変化		
5	3. 呼吸器系・循環器系の変化		
6	4. 消化器系の変化 PEM		
7			
8	5. 泌尿生殖器とホルモン分泌の変化 ・脱水		
9			
10	6. 運動器系(筋・骨格・関節・神経)の変化 ・ロコモティブシンドローム ・サルコペニア　・フレイル	演習	
	7. 高齢者体験		
11	Ⅲ. 加齢による心理・社会的変化 老年期の発達課題		
12	Ⅳ. 老年期を生きる人々の健康		
13	Ⅴ. 老年看護の看護目標		
14	Ⅵ. 高齢者の権利擁護		
15	試験		

テキスト	老年看護学/医学書院
評価方法	筆記試験
先修条件	なし

授業科目	老年看護学概論Ⅱ	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者
		2年次	1	15		佐藤舞菜見

学習目標	
	高齢者の自立と権利を守り、生活を支えるための保健医療福祉制度を理解し、多職種連携の必要性と看護師の役割を学ぶ。 1. 超高齢者社会の現況と高齢者の暮らしについて理解できる。 2. 高齢者を支えるサポートシステムと多職種連携の必要性につい理解し、看護師の役割を考えられる。

回数	授業計画・授業内容	授業方法	講師/実務経験
1	1. 高齢社会の統計的輪郭 1) わが国の高齢化 高齢人口の推移、性差、地域格差 2) 高齢者のいる世帯 3) 高齢者の健康状態 4) 高齢者の暮らし	講義	和田 陽子 保健師 実務経験:有
2	経済状態、住まい、就業		
3	2. 高齢社会における保健医療福祉の動向 1) 高齢者とソーシャルサポート 2) 保険医療福祉制度の変遷と保健医療福祉システムの構築		
4	①老人医療費 ②介護保険制度 ③高齢者医療の新しいしくみ		
5	3) 高齢者を支える職種と看護活動の多様化		
6	3. 保健医療福祉施設における多職種連携と看護の役割 1) 施設の種類と特徴 2) 療養生活に求められる看護の役割 3) 多職種間の連携		
7	4. 高齢者の権利擁護 高齢者虐待、身体拘束 権利擁護のための制度		
8	試験		

テキスト	老年看護学/医学書院 国民衛生の動向
評価方法	筆記試験
先修条件	老年看護学概論Ⅰの履修

専門分野

授業科目	老年看護学 援助論Ⅰ	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者
		2年次	1	30		佐藤舞菜見

学習目標	健康障害のある高齢者とその家族への看護展開を学ぶことができる。 1.疾病・障がいをもつ高齢者の特徴を理解できる。 2.治療を受ける高齢者の経過に合わせた看護を理解できる。 3.高齢者特有の看護問題を理解し、高齢者の生活とセルフケアを支援するための看護活動を理解できる。

回数	授業計画・授業内容	授業方法	講師/実務経験
1 2 3	1.疾病・障がいを持つ高齢者の理解と老年看護の展開 1) 老年看護の役割 2) 老年看護における倫理 3) 高齢者のヘルスアセスメント 4) 経過別にみた老年看護 ①急性期における看護 ②慢性期における看護	講義	佐藤舞菜見 教員 実務経験:有 【試験配点】 演習： 40点 筆記： 20点
4 5 6 7	2.老年看護実践演習 1) 導入：オリエンテーション 患者紹介：心不全患者の事例 2) 看護過程の展開 ①事前学習：心不全の病態・治療経過別看護 ②基礎情報：経過と看護方針の理解 ③アセスメント ④看護診断と看護計画	演習	
8	3) 解説：患者理解と看護の展開	講義	
9 10	4) 看護実践演習：心不全患者の事例 ①オリエンテーション ②行動計画立案 ③援助の実施：食事指導 ④振り返りとまとめ	シミュレーション	
11 12 13	3.治療を受ける高齢者の看護 1) 検査を受ける高齢者の看護 2) 薬物療法を受ける高齢者の看護 3) 手術療法を受ける高齢者の看護 4) リハビリテーションを受ける高齢者の看護	講義	古川 理緒 帯広厚生病院 看護師 実務経験:有 【試験配点】 30点
14	4.エンドオブライフケア 1) 高齢者の死 2) 身体徴候の観察と予測的な援助 3) 合意形成 アドバンスディレクティブ リビングウィル 4) 家族への援助	講義	小田島綾子 帯広厚生病院 がん看護専門 看護師 緩和ケア認定 看護師 実務経験:有 【試験配点】 10点
15	試験		

テキスト	老年看護学/医学書院 その他参考資料
評価方法	筆記試験・演習（レポート、取り組み）
先修条件	老年看護学概論Ⅰの履修

授業科目	老年看護学 援助論Ⅱ	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者
		2年次	1	30		佐藤舞菜見

学習目標	高齢者の特徴をふまえ、健康障害に応じた看護を理解できる。 1.生活機能を整えるための看護を理解できる。 2.主要状態にある高齢者のアセスメントと看護を理解できる。

回数	授業計画・授業内容	授業方法	講師/実務経験
1 2 3 4	Ⅰ．生活機能を整える看護 1.日常生活を支える基本動作と看護ケア 1) 日常生活活動の評価 2) 転倒アセスメントと看護ケア 3) 廃用症候群のアセスメントと看護ケア 4) 症候のアセスメントと看護：痛み 2.コミュニケーションのアセスメントとケア 老人性難聴、失語症、構音障害	講義	和淵ゆかり 帯広厚生病院 認知症看護 認定看護師 実務経験:有 【試験配点】 20点
5 6 7 8 9 10	3.食事・食生活 1) 高齢者における食生活の意義 2) 高齢者の食生活のアセスメント ①食事環境 ②摂食・嚥下過程５期モデル ③栄養状態：たんぱく質・エネルギー低栄養状態(PEM) 3) 食事環境の調整と食事のケア ①食事前・中・後のケアと多職種協働 ②食事の環境調整と誤嚥予防 ③摂食嚥下リハビリテーション 4.排泄 1) 高齢者の尊厳を守る排泄ケア ①排泄行動のプロセスと排泄リズム ②排泄のアセスメントと自助具の活用 ③失禁へのケア ④排便障害：便秘 5.清潔 1) 高齢者の皮膚のアセスメントとケア ①褥瘡、スキンテア ②乾燥・痒みと清潔ケア 6.生活リズム 1) 高齢者と生活リズム ①生活リズムの変調とアセスメント ②昼間のケア・夜間のケア	講義	古田麻由佳 帯広厚生病院 看護師 実務経験:有 【試験配点】 50点
11 12 13 14	Ⅱ．認知機能の障害に対する看護ケア 1) 高齢者のうつ 2) せん妄 3) 認知症 定義、基本構造、診断、治療 予防、評価、看護ケアの実際	講義	和淵ゆかり 帯広厚生病院 認知症看護 認定看護師 実務経験:有 【試験配点】 30点
15	試験		

テキスト	老年看護学/医学書院 その他参考資料
評価方法	筆記試験
先修条件	老年看護学概論Ⅰの履修